

核医学検査オーダー時に注意すべき検査

1. ダットスキャン

- ①. 服用中の薬剤がある場合ダットスキャンの働きに影響を与える可能性があります。
⇒「併用注意の薬剤について」参照
- ②. ダットスキャンはアルコールが微量含まれています。過敏症の既往歴のある方は禁忌となります。
⇒「アルコールを含有する事に関しての、投与可否の判断」参照

併用注意の薬剤について

下記薬剤は検査への影響が考えられるため、服用中の場合、可能であれば少なくとも5半減期は使用しないことをご考慮ください。

併用注意の薬剤

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
選択的セロトニン再取り込み阻害薬 ・フルボキサミンマレイン酸塩 ・パロキセチン塩酸塩水和物 ・塩酸セルトラリン	線条体と背景組織における本剤の集積比が上昇する可能性がある。画像を評価する際に留意すること。	本剤は背景組織に発現するセロトニントランスポーターにも結合するため、背景組織における本剤の集積が低下する可能性がある。
中枢神経刺激薬 ・メチルフェニデート塩酸塩	線条体における本剤の集積低下の原因となる可能性がある。画像を評価する際に留意すること。	線条体における本剤の 特異的結合を競合的に阻害する可能性 がある。
三環系抗うつ剤 ・アモキサピン		
食欲抑制剤 ・マジンドール		
コカイン系製剤 ・コカイン塩酸塩		
中枢興奮剤 ・メタンフェタミン塩酸塩		

—使用上の注意（添付文書 3. 相互作用より抜粋）¹⁾—

アルコールを含有する事に関しての、投与可否の判断

ダットスキャン静注 1 バイアル（2.25mL）中、無水エタノールが 0.1125mL（5%）含まれます。

—添付文書より抜粋¹⁾—

【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

本剤及び本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【使用上の注意】

慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

飲酒に対し強い反応を示す患者

[問診により適切かどうか判断すること。]

* 本剤に含まれるアルコールは微量であり、1 バイアル全量投与時の血中アルコール濃度は酒気帯び運転の血中アルコール濃度下限値の約 1/10 以下です。

参考資料：日本メジフィジックス HP.製品関連 FAQ

2. 交感神経機能シンチ

併用注意の薬剤について

レセルピン、三環系抗うつ剤の服用は RI 薬剤の集積を低下させますので、服用中の場合は可能ならば服用停止をご考慮ください。

その他検査に関するご確認、ご質問は放射線科までお問い合わせください。

厚生連 小千谷総合病院 放射線科
0258-81-1600 (内線 2110)